掛川市男女共同参画情報誌

ゆめこらぼ

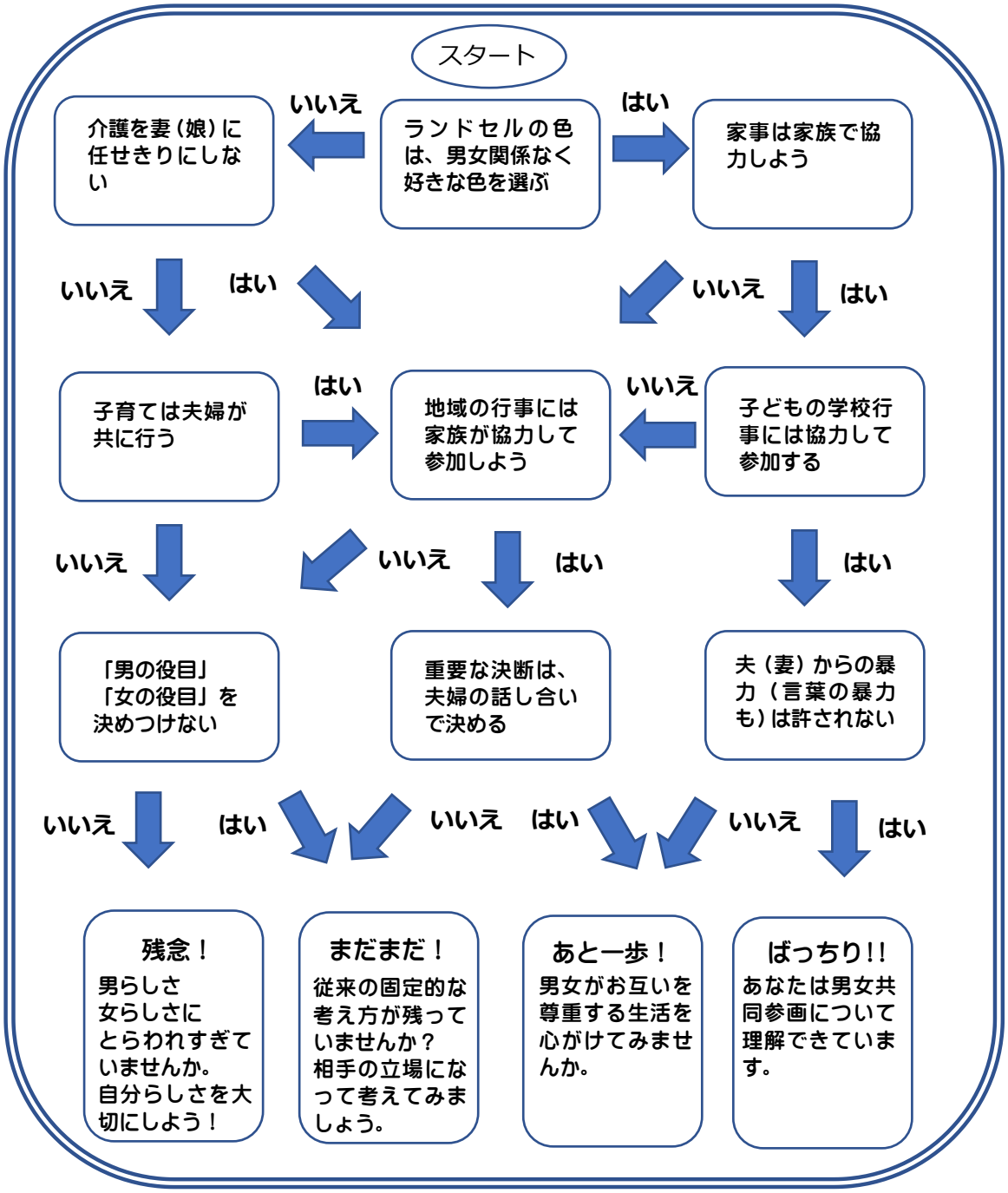
第10号

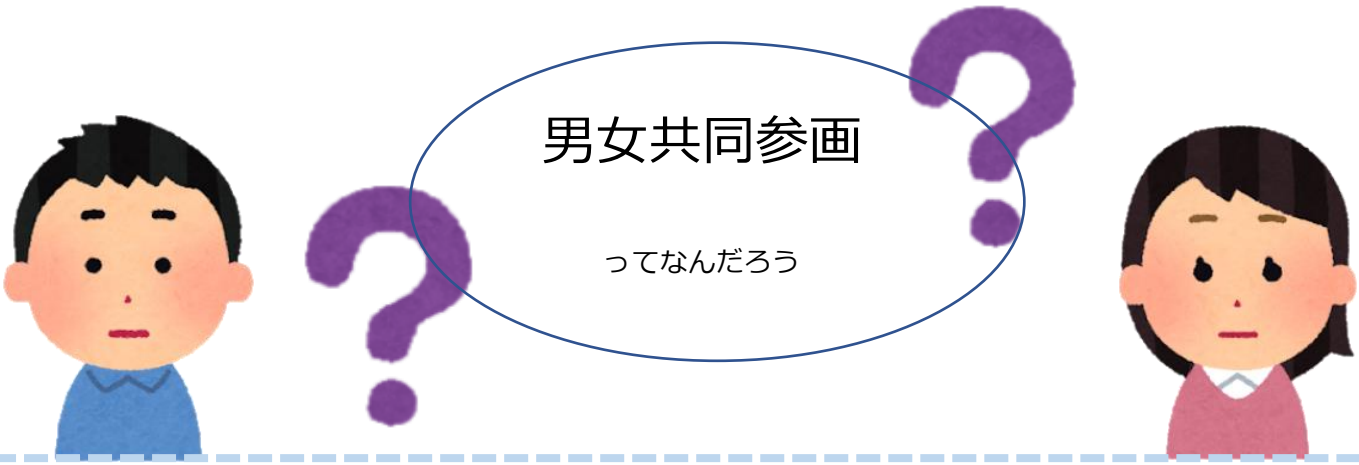
男女共同参画とは
性別に関係なく
一人ひとりが持っている
個性や能力を活かして
いろんなことをみんなで協力し合っていくこと

平成30年度　掛川市男女共同参画推進委員会

まずはあなたの男女共同参画意識をチェック！

パートナーがいない場合は、いる想定でお答えください。





家庭から始める男女共同参画

家事は協力しあい、互いに感謝し合いましょう。

家事は女性が行わなければいけないと考えていませんか？
職場や地域などさまざまな場面で女性も男性も活躍していくには、家庭での協力が必要です。

子育てや介護などは、家族で協力し合いましょう。

子育てや介護などは、家族で協力することにより、就労や地域活動などできることの選択の幅は広がります。

地域活動には、男女関係なく参加しましょう。

暮らしやすく活力ある地域社会を作るには、性別年齢などに関係なく住民みんなの協力が必要です。

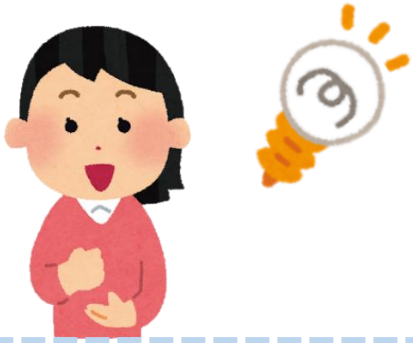
性別に関係なくひとりの人として尊重される社会を目指しましょう。

配偶者やパートナーなど親密な関係にある人からの暴力やセクシャルハラスメントなどは犯罪となる人権侵害です。

家族で人権について
話し合ってみましょう

一人ひとりの人権を尊重すること

性別に関係なく、さまざまな個性や能力が発揮できる多様性のある社会が男女共同参画社会です。



犬塚先生のお話をうかがいました

静岡県立大学国際関係学部国際関係学科
犬塚協太　教授
「男女共同参画社会の意義と地域における推進について」お話をうかがいました

少子高齢化により労働力が不足し経済も低迷する現代、これまでの男女分業型で働く女性にとって、家事・育児・介護までも担うのは負担が重くなることから、未婚、少子の選択が増えています。

少子高齢化が進むことは、親の介護においても少数の子どもの大きな負担になります。今後私たちが生活しやすい社会を目指すには、性別（性別分業型）の枠にとらわれず、一人ひとりの個性や能力を認め、支え合うことが必要です。

カバーし合える社会で、活き活きと

これまでの文化や自分の価値観…その中で男性も女性も活き活きと出来る社会にしていく為に、何が出来るのだろうか？と思いました。

20～30 代の男性が家事や子育てを手伝いたいと感じていても、仕事場の理解が無いとなかなか難しい現実。大きく急に変わる事は出来ないので、少しずつ出来る事に取り組める社会にしていきたいです。

個々の意識改革だけでは『ダメ』

女性が「仕事を頑張ろう」とか「地域役員やってみよう」とか。男性だったら「家事や育児の協力をもっとしたい」とか。そんなふうに考えて行動しようと思っても、送り出す側・受け入れる側の家庭・地域・企業の意識も一緒になって変わっていかないと、個々の思いは成就できません。

難しいことかもしれないけれど、社会全体の意識を変えるのは、やっぱり個々の意識改革から、なのかもしれませんね。

だれかに話したい・・・そう思ったら

あなたの悩みや困っていることについて、まずは話してみませんか。
ひとりで抱え込まないで、一緒に解決の糸口を探しましょう。

掛川市女性相談室

電話相談　毎週火曜日 10：00～12：00
☎0537－21－1119

面接相談（要予約）　毎週火曜日 13：00～16：00
☎0537－21－1127

あざれあ男性電話相談

毎月第１・３土曜日
13：00～17：00
☎054－272－7880

編集：平成 30 年度掛川市男女共同参画推進委員会　事務局：掛川市企画政策課
TEL：0537－21－1127　FAX：0537－21－1167　Email:kikaku@city.kakegawa.shizuoka.jp